

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が78例(男性44例(10歳代6例, 20歳代13例, 30歳代6例, 40歳代11例, 50歳代4例, 60歳代1例, 70歳代1例, 年齢非公開2例), 女性32例(10歳代2例, 20歳代7例, 30歳代6例, 40歳代6例, 50歳代3例, 60歳代3例, 70歳代1例, 80歳代1例, 年齢非公開3例), 性別及び年齢非公開2例)あり, 本年の累積報告数は8,149例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が2例(10歳代女性及び40歳代女性)ありました。本年の累積報告数は9例となりました。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が3例(70歳代男性2例, 70歳代女性1例)(うち1例は第24週追加報告分)あり, 本年の累積報告数は17例となりました。
- ・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が2例(50歳代男性及び80歳代女性)あり, 本年の累積報告数は6例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が2例(20歳代男性及び10歳代女性)あり, 本年の累積報告数は32例となりました。
- ・ **RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は2. 53で, 前週の3. 40から減少しました。しかし, 全国では今週4. 13(前週3.87)で増加傾向が続いており, 京都市でも, これまで同様強い警戒が必要です。

◆ 今週のトピックス: <梅毒>

京都市では, 第26週に2例の梅毒の報告があり, 2021年の累積報告数は32例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 3例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 122例(肺結核 43例, その他結核 35例, 潜在性結核感染者 44例)うち喀痰塗抹陽性 19例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 78例**【1月以降の累積報告数8,149例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 17例】
- ・ 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 32例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

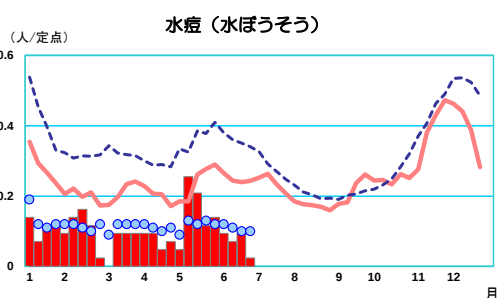
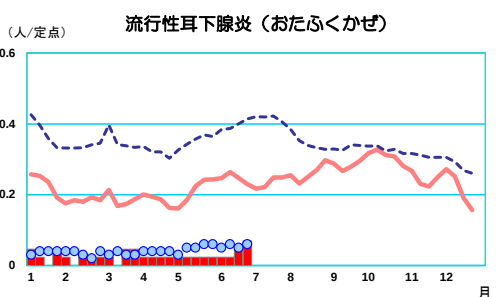
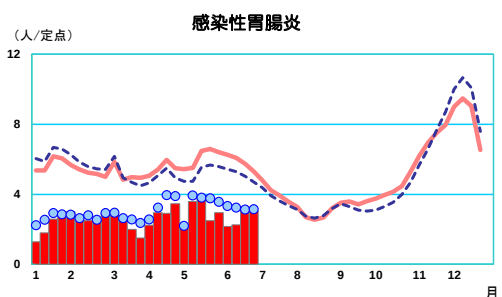
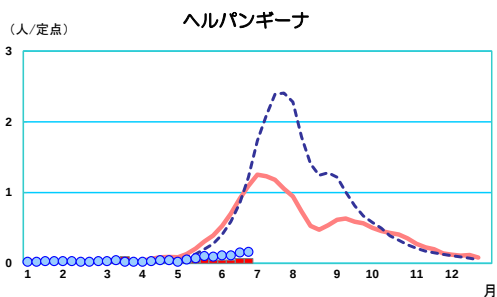
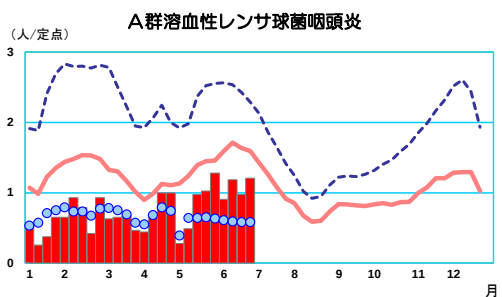
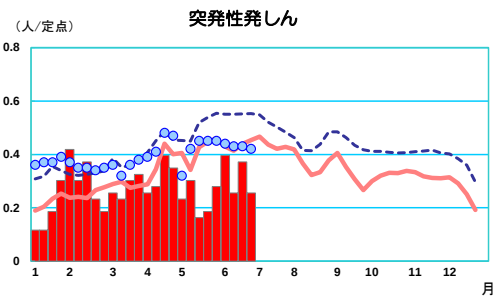
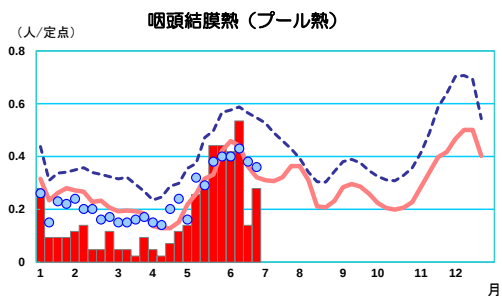
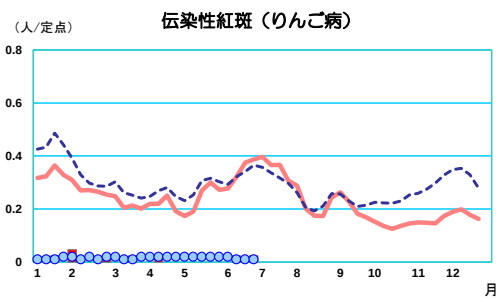
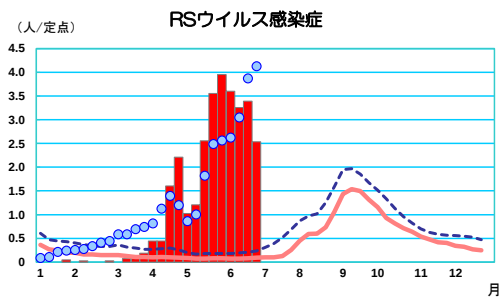
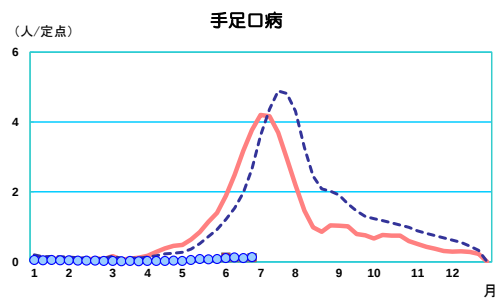
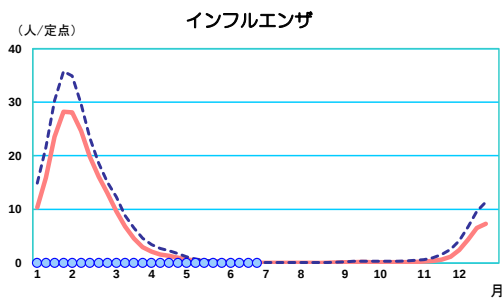
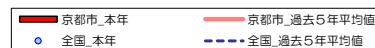
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3. 05	131
	② RSウイルス感染症	2. 53	109
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 21	52
	④ 咽頭結膜熱	0. 28	12
	⑤ 突発性発しん	0. 26	11
眼科	流行性角結膜炎	0. 30	3

【次ページ以降の主な内容】

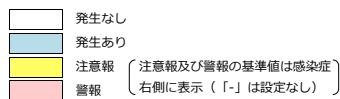
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <梅毒>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年7月8日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

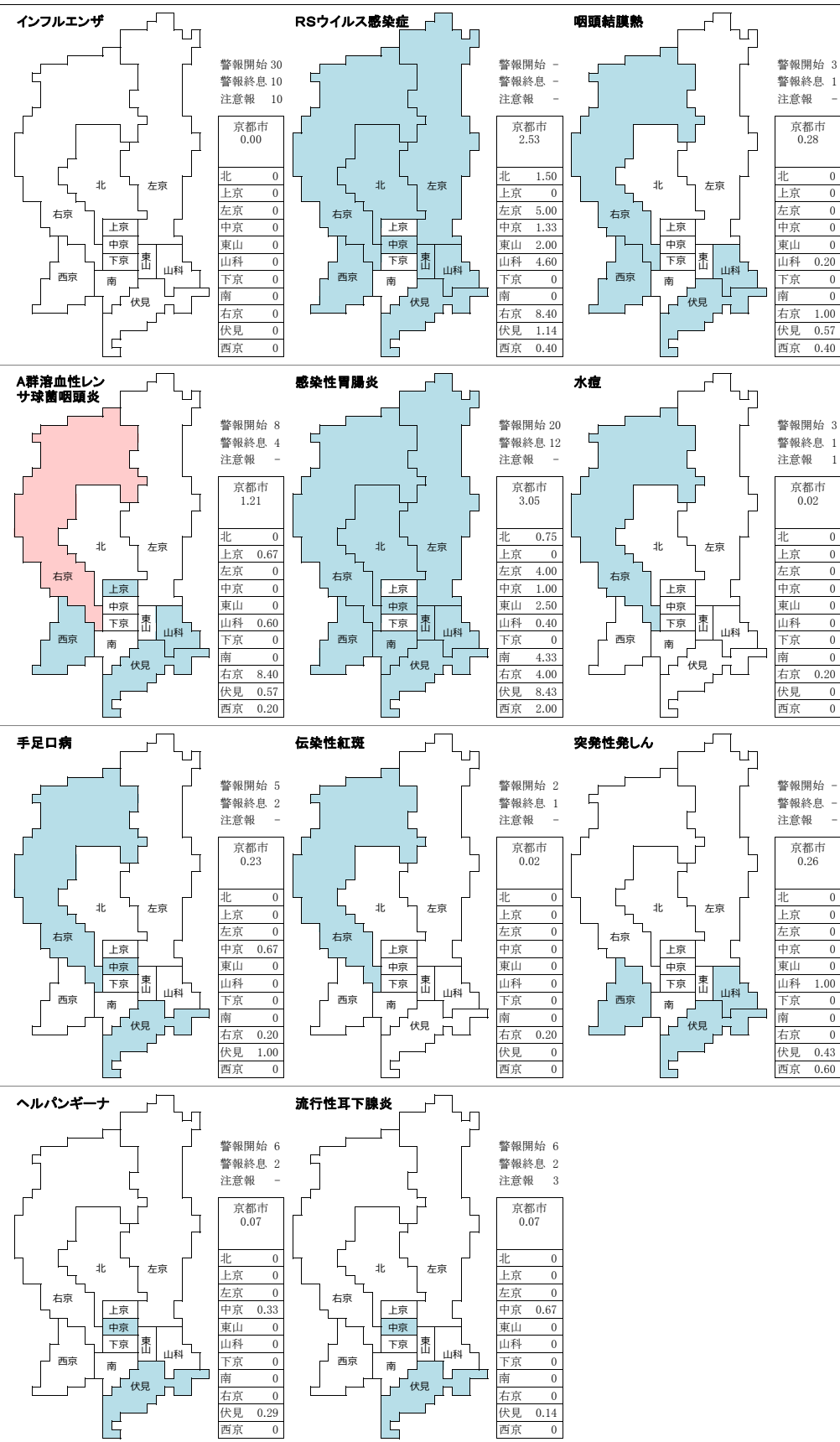
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図 【2021年 第26週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



第26週(6月28日～7月4日)トピックス:＜梅毒＞

2021年

京都市では、第26週に2例の梅毒の報告があり、2021年の累積報告数は32例となりました。第26週は年間の感染症発生動向調査の半期に相当しますので、本年前半の発生状況をまとめ、過去の状況と比較しました。

過去10年の京都市及び全国の推移をみると、京都市では2014年に10例を上回って以降報告数が急増し、2017年以降昨年までは60例から70例程度で高止まりしています。全国でも2014年頃から急増した後、2017年以降は6,000例から7,000例程度で高止まりしています(図1)。

京都市の昨年2020年の月別推移をみると、新型コロナウイルス感染症の流行があったにもかかわらず、9月頃まではそれまでとよく似た推移を辿り、10月及び11月には報告数がやや減少、12月には再び増加し、年間報告数は60例となりました。60例は、2019年からは減少ではあるものの、それ以前の推移と比較すると多い状態が続いていると言って差し支えないと考えられます。本年は、昨年同様に新型コロナウイルス感染症の流行下であっても、梅毒の推移は2017年以降と大きな違いが見られません(図2)。年間累積報告数が60例程度になる可能性が十分にあります。

全国の本年第26週までの報告は3,298例となっています。これは2020年の約半数で、このままの推移が続けば昨年と同程度の年間6,000例程度となる可能性があり、京都市同様に高止まりの状態が続くこととなります(図1)。

全国の発生動向を性別及び年齢階級別でみると、男女比がおおよそ男性7割弱に対し女性が3割強、性別と年齢階級を合わせてみると、男性では20歳以上の各年齢層の割合がほぼ同じ、女性では20歳代が約20% (女性に占める割合は50%強) となっています。男女比及び年齢構成は2017年以降本年前半を含め毎年ほとんど同じ構成となっており、総数の高止まりと共に、発生動向が定常状態になっています(図3)。

このように、現在の社会的・自主的な行動制限がある中でも、梅毒の発生状況はそれ以前とあまり変わっていないと言えます。また、報告数は医療機関を受診した患者に限られますので、自覚症状が少ない等で治療を受けておらず、他の人の感染源となる可能性のある人を含めると感染者数は更に多いと推測されます。新型コロナウイルス感染症流行下で受診抑制(ドクターズディレイ)も考えられ、受診抑制があるとすれば、今後更なる報告の増加や診断時の重症化の可能性があり、梅毒の発生動向に十分注意する必要があります。

図1 京都市及び全国の年間報告数 (2011年～2021年第26週)

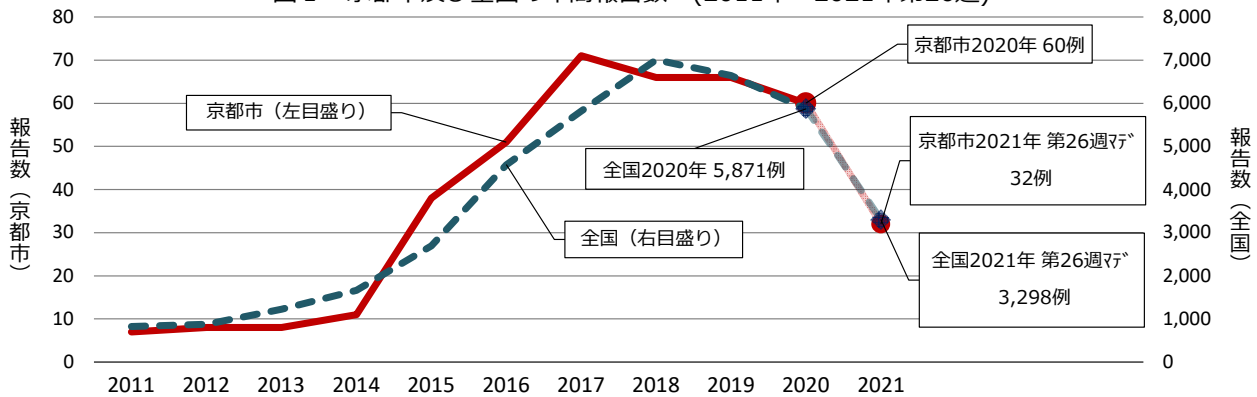


図2 京都市の累積報告数 (2017年～2021年第26週)

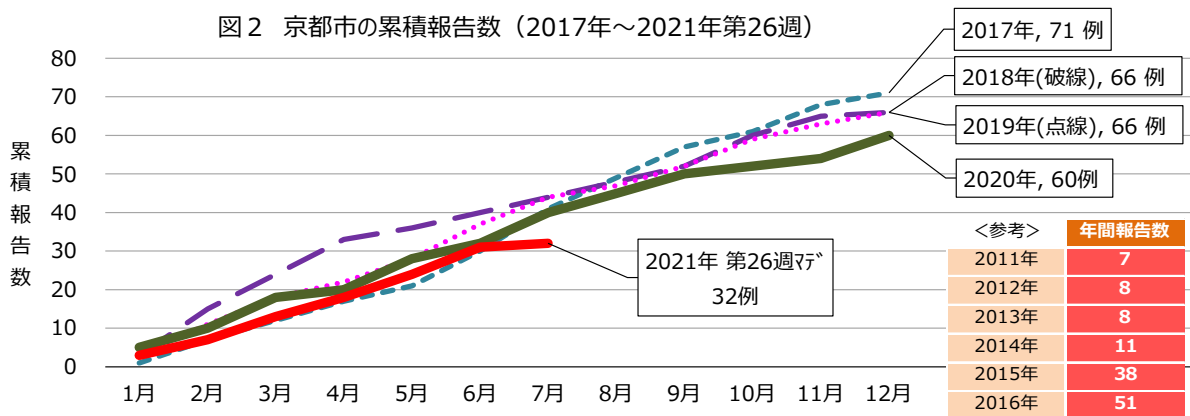
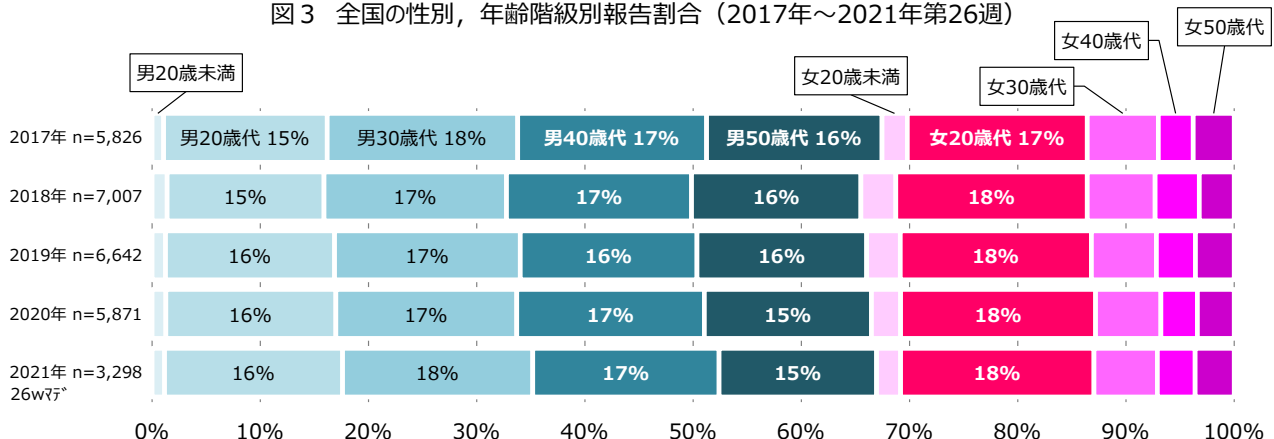


図3 全国の性別、年齢階級別報告割合 (2017年～2021年第26週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第26週

疾病,行政区別報告数

2021年6月28日～2021年7月4日

データ入手日:2021年7月8日

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	6	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	20	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-					
中京	-	4	-	-	3	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	4	-	-	5	-	-	-	-	-	-							
山科	-	23	1	3	2	-	-	-	5	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-							
右京	-	42	5	42	20	1	1	1	-	-	-	-	3					
伏見	-	8	4	4	59	-	7	-	3	2	1	-	-					
西京	-	2	2	1	10	-	-	-	3	-	-	-	-					
京都市計	-	109	12	52	131	1	10	1	11	3	3	-	3	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	1.50	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	5.00	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
中京	-	1.33	-	-	1.00	-	0.67	-	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.00	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	4.60	0.20	0.60	0.40	-	-	-	1.00	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	4.33	-	-	-	-	-	-							
右京	-	8.40	1.00	8.40	4.00	0.20	0.20	0.20	-	-	-	-	3.00					
伏見	-	1.14	0.57	0.57	8.43	-	1.00	-	0.43	0.29	0.14	-	-					
西京	-	0.40	0.40	0.20	2.00	-	-	-	0.60	-	-	-	-					
京都市計	-	2.53	0.28	1.21	3.05	0.02	0.23	0.02	0.26	0.07	0.07	-	0.30	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第26週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年6月28日～2021年7月4日

データ入手日:2021年7月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	109	9	15	35	22	19	7	1	－	－	1	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		12	－	2	4	2	3	1	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	－	1	12	11	3	13	2	1	3	3	－	1	－	2						
感染性胃腸炎		131	2	9	25	17	14	7	9	3	4	3	1	17	2	18						
水 痘		1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		10	－	－	4	3	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－						
突発性発しん		11	－	4	6	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		3	－	－	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		3	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	1						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ※1	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	2.53	0.21	0.35	0.81	0.51	0.44	0.16	0.02	－	－	0.02	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.28	－	0.05	0.09	0.05	0.07	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.21	－	0.02	0.28	0.26	0.07	0.30	0.05	0.02	0.07	0.07	－	0.02	－	0.05						
感染性胃腸炎		3.05	0.05	0.21	0.58	0.40	0.33	0.16	0.21	0.07	0.09	0.07	0.02	0.40	0.05	0.42						
水 痘		0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		0.23	－	－	0.09	0.07	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－						
突発性発しん		0.26	－	0.09	0.14	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.07	－	－	0.02	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.07	－	－	－	－	－	0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	0.02						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.30	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－	－	－	0.10	0.10	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎※2	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎※3		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎※4		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第26週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年7月8日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		153	170	155	140	146	109
咽 頭 結 膜 熱		19	19	18	23	6	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	55	39	51	42	52
感染性胃腸炎		107	127	93	97	140	131
水 痘		5	6	4	3	4	1
手 足 口 病		3	1	11	4	4	10
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	1	－	1
突発性発しん		8	12	17	11	16	11
ヘルパンギーナ		3	2	2	2	3	3
流行性耳下腺炎		1	1	1	1	2	3
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		2	－	－	1	1	3
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		345	393	340	334	364	336

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		3.56	3.95	3.60	3.26	3.40	2.53
咽 頭 結 膜 熱		0.44	0.44	0.42	0.53	0.14	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	1.28	0.91	1.19	0.98	1.21
感染性胃腸炎		2.49	2.95	2.16	2.26	3.26	3.05
水 痘		0.12	0.14	0.09	0.07	0.09	0.02
手 足 口 病		0.07	0.02	0.26	0.09	0.09	0.23
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	0.02	－	0.02
突発性発しん		0.19	0.28	0.40	0.26	0.37	0.26
ヘルパンギーナ		0.07	0.05	0.05	0.05	0.07	0.07
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.07
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.20	－	－	0.10	0.10	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		8.18	9.14	7.91	7.84	8.54	8.04

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。